

● 県西部の4市と3警察署が
防犯情報交換協定を締結

平成20年2月2日、所沢市、飯能市、入間市、狭山市の4市と所轄の所沢警察署、飯能警察署、狭山警察署が、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、「埼玉県西部地区4市における防犯情報の相互交換等に関する協定」を締結しました。この協定には、犯罪を未然に防ぐための情報交換や犯罪を防止するためのPR活動などが定められています。



問合せ交通防犯課へ内線3692

● 開発許可基準を一部改正

「狭山市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」の一部改正で、4月1日から、市街化調整区域での自己居住用住宅の建築にかかる開発許可基準の一部が変わりました。変更の主な内容 親族の要件を3親等以内から民法上の親族(血族6親等・姻族3親等)に拡大 親族の居住範囲を本市に加えて隣接市の市街化調整区域まで拡大

問合せ開発審査課へ内線2173

● 4月1日 市の組織を改正

市では、より効果的な行政運営に取り組んでいくため、4月1日に組織を改正します。課の統合 商工業振興課...企業誘致推進課と商工課を統合し、商工業の振興と企業支援を一体的に推進します(市民部に設置)

地区センターと出張所、サービスコーナーを統合 市内8か所の地区センターの名称はそのままに、出張所、サービスコーナーを統合し、各地区センターを中心とする、まちづくり推進体制をより明確にしました 従来の出張所業務は各地区センターで行います。なお、入間川地区センターでは、狭山市駅市民サービスコーナーと上諏訪市民サービスコーナーを分室とし、証明書発行などは分室のみで取り扱います

問合せ行革推進課へ内線7051

平成20年4月から40歳〜74歳の方を対象に

新しい健康診査(特定健康診査・保健指導)がスタート

平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」により、40歳から74歳までの方には、保健センターが行っている「基本健康診査」に代わり、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導が各医療保険者に義務付けられました。今回は、『狭山市国民健康保険』で行う健康診査の概要をお知らせします。

メタボリックシンドローム
に着目した健康診査

新しい健康診査は、生活習慣病、とりわけメタボリックシンドローム

に着目し、その該当者や予備群を早期に見出し、生活習慣を改善するための保健指導を行い、糖尿病などの方やその予備群の方を少なくすることを目的に行います。

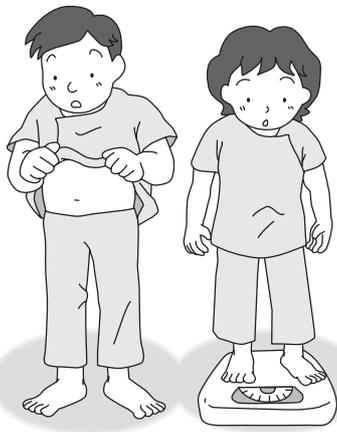
市長随想 楠



狭山市長 仲川幸成
似顔絵・池原昭治氏

歴史と愛着の名称を

入間地区は、室町時代の終わりごろから、武州入間村十二人衆、「入間用水」といった言葉で表現されていたことが、入間鎮守御縁起『新編武蔵風土記稿』を見るとわかります。そして、江戸時代初めのころ、南北に分かれ、さらに水野新田の開発によって三村となりました。その後、明治22年



規則正しい生活で

生活習慣病を改善

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪がたまりすぎる内臓型肥満に加えて、高血糖、脂質異常、高血圧などが、軽度でも重なっている状態をいいます。この状態を放置しておくとも動脈硬化が急速に進行し、心臓病や脳卒中、糖尿病などを引き起こすことが分かってきました。メタボリックシンドロームの状態に早めに気づき、生活習慣を改善することが大切です。

新しい健康診査の実施方法

受診券の送付 5月以降に、特定健康診査の受診券を郵送します
 受診 指定医療機関か保健センターに受診の予約をしてください。
 費用は無料。受診方法など、詳細は受診券で確認 特定健康診査とがん検診を同時に受診することができます。大腸がん、肺検診以外の際に「受診券」が必要となりますので、保健センターに申し込み、事前に受診券を取得してください

判定・結果のお知らせ

特定健康診査受診後、健診結果とメタボリックシンドローム判定結果をお知らせします
 特定保健指導 生活習慣の改善が必要な方には、保健指導利用券を送付します。保健師や管理栄養士などから生活習慣改善のためのサポートが受けられます
 特定健康診査は指定医療機関と保健センターでの集団健診が選べます

問合せ保険年金課へ内線1051

国民健康保険以外の方は

狭山市国民健康保険以外の方は、保険証を確認し、ご加入の医療保険者にお問い合わせください。

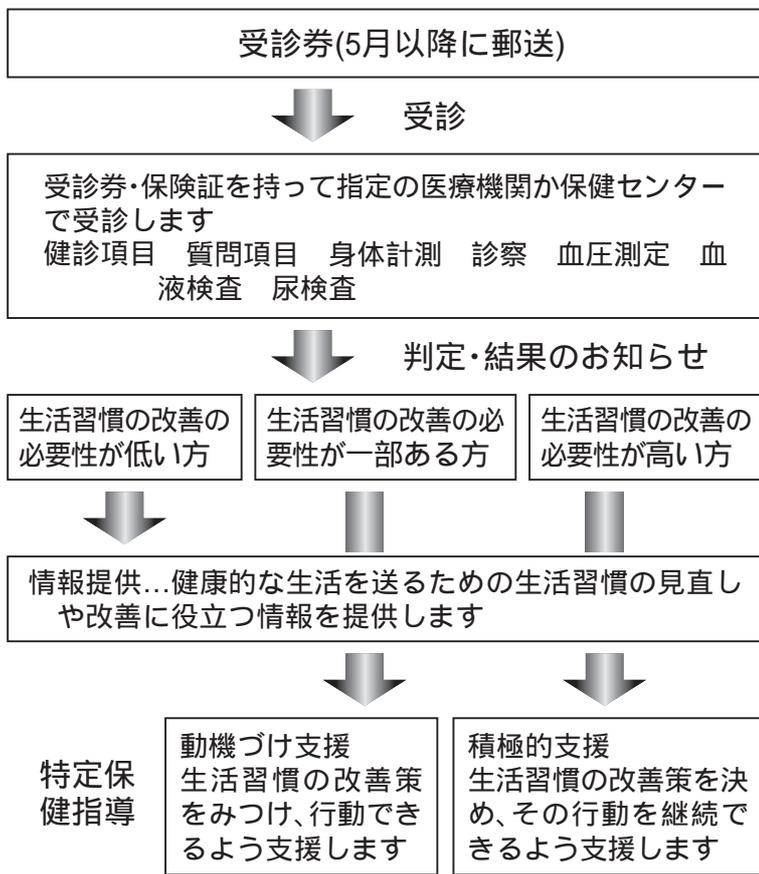
30歳～39歳の方の健康診査は

健診の機会がない方は、従来どおり保健センターで実施します。自己負担金があります。詳しくは平成20年度版健康カレンダーなどをご覧ください。
 問合せ保健センターへ 2959 5811

75歳以上の方の健康診査は

75歳以上の方の健康診査は、新たに設置される後期高齢者医療制度で実施します。健診内容は、国民健康保険の方と同じです。
 問合せ福祉課へ内線1516

特定健康診査・特定保健指導の流れ



市長の主な動き



- 2/2... 埼玉県西部地区4市における防犯情報の相互交換等に関する協定調印式、健康づくり講演会
- 2/5... 白寿訪問 2/6... 定例庁議 2/7... 埼玉西部広域事務組合議会定例会、狭山市まちづくり市民公開講座 2/14... 狭山市住宅協会理事会、三市広域消防連絡協議会 2/18... 振興計画審議会 2/20... 定期監査講評 2/21... 定例庁議 2/22... 狭山市消防演習訓練 2/26... 第1回市議会定例会

(1889)三村は再び合併し、今度は人間郡の中心にとの願いから人間村と名づけられました。県の西南部は昔から「武蔵野」「人間郡市」と呼ばれ、戦後地域の広域化から人間東部、東人間、西人間、人間市との名称がつけられるようになり、人間の存在が分かりづらくなっています。
 平成元年、人間100年事業で、私はやがて埋もれてしまうであろう、郷土人間を後生に残す最後のチャンスとして、碑に人間の歴史を刻みました。入間は、埼玉県唯一の固有名詞であります。歴史と風土にあった地域の名称の見直しも意義のあることだと考えています。
 人間地区を一例としてあげましたが、馴れ親しんだ言葉で地域を表すことも祖先への恩返しだと感じています。